



スマートフォンなどで快適管理

また、「やくも水神」採用の自治体の声を契機とし、データセンターの「重化とともに、スマートフォン・タブレット端末

タ結果をクラウドにより、リアルタイムで情報管理できる「クラウド型リアルタイム表示」(特許第6527660号)を開発し、公益社団法人発明協会主催の令和2年度中國地方発明表彰で、中国経済産業局長賞を受賞した。従来なかった新たなマーケットを創造して、「水の広域総合管理システム」のパイオニアとして確立し、システムの利用幅が

などへの対応を重ね、クラウドに対応した新水神ネットワークとして、下水道のマンホールボンプ制御盤において全国展開を開始して以来、水道や消融雪、施設の計測データなどの遠隔監視や広域・エリア管理について、業界を先導してきた。

また、「やくも水神」採用の自治体の声を契機とし、データセンタの「重化とともに、スマートフォン・タブレット端末

のIT化を通じ、施設管理の効率化による持続可能な水管管理を目指し、知恵と技術を融合した水管時代の「コミュニケーションワーク」を創造している。

同社は、現場施設の計測データを所定間隔ごとに受信し、情報端末と通信可能な送受信の各プロセスを備えている。計測装置は計測データを所定間隔ごとに受信プロセスに送信し、情報端末がセンタ施設を経由して、現場

施設の計測データを取得する。その後、1つの現場施設(計測装置)に対し、多数の情報端末が計測データの取得を希望しても、並列性や耐障害性に優れた開発言語を採用することで、計測装置の負荷の増大を防ぎ、ラグが生じず、リアルタイム表示を可能とした。同社は「やくも水神」の未来への可能性が実証できたとしている。なお「クラウド型リアルタイム表示」は、国・県・市・町が一体となつて取り組んできた、日本最大級の国営九頭竜川下流域農業用水パイプライン事業(国営・県営事業の総事業費約2000億円)で、全面的に採用され、省庁間をまたぐ水のクロスオーバー管

小松電機産業

現場計測データをリアルタイム表示

クラウド総合水管理システム「やくも水神」は、平成12年9月、インターネットやモード

月。今年10月末時点では全国470自治体、1万3000施設に導入されており、上下水道施設

などへの対応を重ね、クラウド総合水管理システムに成長した。今年10月末時点で全国470自治体、1万3000施設に導入されており、上下水道施設のIT化を通じ、施設管理の効率化による持続可能な水管管理を目指し、知恵と技術を融合した水管時代のコミュニケーションワークを創造している。

「クラウド型リアルタイム表示」は、現場施設の計測装置とセンタ施設に設置され、情報端末と通信可能な送受信の各プロセスを備えている。計測装置は

計測データを所定間隔ごとに受信プロセスに送信し、情報端末がセンタ施設を経由して、現場

施設の計測データを取得する。

その際、1つの現場施設(計測装置)に対し、多数の情報端末が計測データの取得を希望しても、並列性や耐障害性に優れた開発言語を採用することで、計測装置の負荷の増大を防ぎ、ラグが生じず、リアルタイム表示を可能とした。同社は「やくも水神」の未来への可能性が実証できたとしている。なお「クラウド型リアルタイム表示」は、国・県・市・町が一体となつて取り組んできた、日本最大級の国営九頭竜川下流域農業用水パイプライン事業(国営・県営事業の総事業費約2000億円)で、全面的に採用され、省庁間をまたぐ水のクロスオーバー管

理も実現したとしている。